



聖装戦隊ブレイブハーツは、悪の組織ルードカードの本拠地を発見したと言うイエローの案内で、敵の本拠地に突入し、敵のボスであるクイーンと対峙した。そして――

ブレイブ
スラッシュ！

ぐふっ!?

何故貴様らの
攻撃が通る!?

我はクイーン！
『ダーク因子』を持つ
絶対の存在！

その我が傷を負う
なんぞありえぬ！

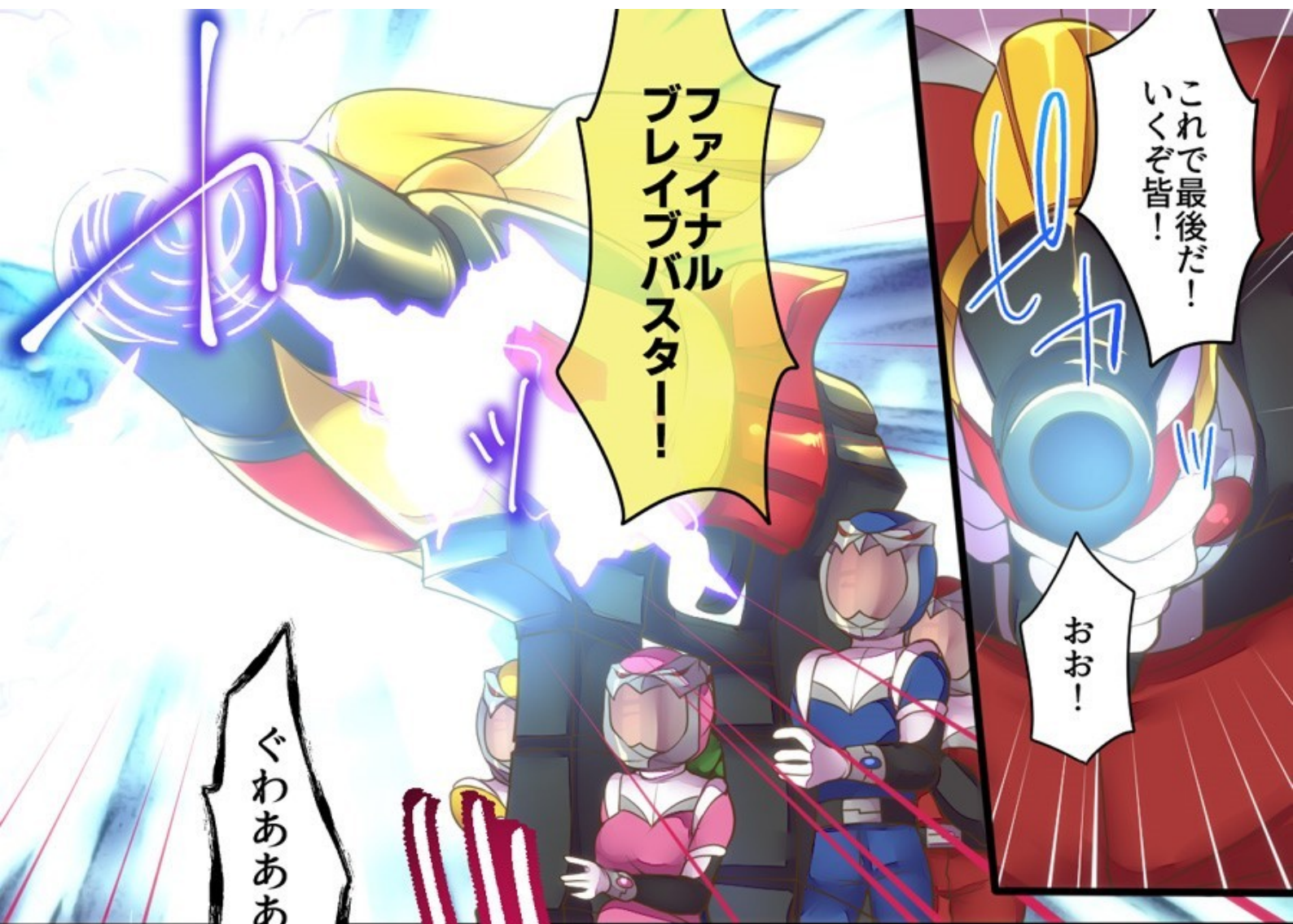
聖装戦隊 ブレイブハーツ

～そして正義は悪に墮つ～

聖装戦隊
ブレイブハーツ！

例え不可能だと
言われようと、
勇気と絆で
可能にする！

それが俺達！



ファイナル
ブレイバスター!!

これで最後だ!
いくぞ皆!

おお!

ぐわああああああ!



その様な

……わたくし達、
クイーンを
倒せたのですか?

うん……



やったぜ!
俺達の勝利だ!

ナニモッ!ー!

ようやあー

ギリギリ
だったな

もう立って
いるのも
やっとな

そのギリギリまで
持ち込めたのも
ブルーのおかげだな!

めっちゃ感謝
しているぜ親友!!



その作戦を
途中で変えたくせに
調子の良い奴だな

とは言え、それが
功を奏したんだ。
さすがだよレッド

^^



それでは皆さん、
帰って祝勝会と
しましょう

わたくし、腕に
よりをかけて
お料理をしますね

おお、それは
楽しみだな!
皆帰ろうぜ!

いいや
帰さないよ



くっ、体が痺れて
動けない

これは
ブレイブガンの
スタンモードか!?



あはっ、僕は
イエローじゃ
ないよ

ブルードカードの
ジューカー様だ!

!?

ルード?

何を言っ
て
いるんだ
イエロー?

イエローさん、
どうして……?

これがルード様の
計画だからだよ



くっ……!

数時間前

仲間の為に一人で
この基地を発見
できるなんて

流石だね
イエローお姉さん

褒めてあげよ。
二人も拍手拍手

姉様の仇である
貴様なんぞに
褒められても
反吐が出るだけだ

あはっ、
知ってるよ。
だから褒めたんだ

貴様……!!

ふふ
そんな怖い顔を
している綺麗な
顔が台無しだよ

ほらスマイル
スマイル

貴様に見せる
笑顔など無い

そっか。
まあいいや
これから
いくらでも
見れるし

どういう
意味だ?

すぐに分かるよ。
ふふっ、これからの
ことを考えると
興奮してくるね

今にも
達しそう

下劣な!

例え貴様が
私を辱めようと
決して屈しは
しないぞ!

アッ
それは
どうかな?





ねえねえ自分が
最も嫌っている
姉様の仇になった
気分はどう？

最悪以外の
答えがあるか！

今すぐ私の
体を返せ！

い・や・だ☆

だってこれからこの体で
プレイブハーツに罠を
仕掛けるんだから

なんだと!?

あっ罠と言っても
ハニートラップ
ではないよ

それなら
ピンクお姉さんと
入れ替わった方が
いいもん

ハイハイ

そんなことは
どうでもいい！
私の体をその様な
ことに利用するな！

あはっ、僕はイエロー
お姉さんが最も嫌う
ジョーカー様だよ？

何よりも仲間が大切な
イエローお姉さんだ
だから利用するんだ

ジョーカー
貴様！

おおっ！



ねえねえ二人とも。
こんな怒っている
僕ってこれまでに
見たことがあった？

いいえ、
ありません

だよ、僕も
初めてだよ。
見ていて面白いね

面白い
ものか！

しゅわ
そりゃ
そうさ。

だって今は僕が
面白がる時間
なんだから



面白いと言えば、
イエローお姉さん達は
圧倒的な力を発揮できる
『ブレイブ因子』の
持ち主だよな？

その力を全身に
ひしひしと
感じて面白い



聖装変身！
ブレイブ
イエロー！

ああそうだ。
試して
おかないと



よし、無事に
変身できたな

そんな
馬鹿な……

それにしても
良い体つきを
しているね

僕を倒す為にここまで
鍛えてくれて嬉しいよ

ああでもこの
大きな胸は邪魔かなあ。
肩が凝りそうだ

やめろ！

ああ
そうそう

足技も磨いて
いたよね

ぐはっ!!

今初めてイエロー
お姉さんの足技が
ジョーカーに
決まったけれど、
その強靱な体にも
ちやんと効いてる
みたいだね

どう？
ちゃんと成果が
出て嬉しい？

私は……
ジョーカーでは
……ない

いいやイエロー
お姉さんは……
君はもう……
ジョーカーだよ

そして僕が
イエローさ

君はこの足で
ジョーカーを蹴り倒した
かったようだけれど

この魅力的な足は
違うことに使った方が
いいと思うよ



んっ

おちんちん
初心者の君に
さそのムラムラは



この様なモノが
私に付いている
なんて……!!

ふふっ。こんな
ギンギンに
しちやって



あはっ、
もう勃起しているね。
いや僕が勃起した時
からずつとかな?

君と勃起の
引き継ぎを
したのかと思うと
興奮するよ

変態め!



何を
する
つもりだ!?

椅子が
変形を!?

優しい
お姉さんが
今楽にして
あげるよ



この足は
こういうこと
使った方が
いいと
思うんだよね



だ、誰が気持ち
良いものか！



それに君、とても
気持ち良さそうな
顔をしているよ



私の足で
それに触れるな！

もう遅いよ



やめろ！

貴様に極上の
快楽を与える為

日々鍛錬を重ねた
私の足技に溺れる！



だ、駄目だ……
意識が全て足に
向いてしまう



それにしても
足の指までも
自由自在に
動くね
これはどう？



こいつ私の
真似を！



誰に物を
言っている！

悪逆非道な貴様の
言葉に私が耳を
傾けると思うな！





ベニー、
姿を現せ

これは一体……
どういうことだ？

余の名はルード。
このルードカードの
長である

クイーンが
ボスだという
情報もフェイク
だったのか……

貴様も良い
演技であった

余の代理、ご苦労

貴様らはこれまでに
余が用意した四天王の
ジャック、エース、
キングを倒した

よって貴様らは
新たな四天王に
なる資格を得た

誰がお前の
配下になるか！

思っ
上がるな

貴様らに選択権
なんぞない。
決めるのは余だ

転送装置の
光！？

皆さん！？

さてベニーよ。
クイーンの体は
もう使えまい

代わりにピンクの
体をくれてやる



苦しい!
見えないの!
掴めないの!?

あがつ!? あっ

あがつ!? あっ

有難き 幸せ!



一体何を……あれ感覚が?

ぼや...

なるほど、クイーンに負けず劣らずの 良い体だな

これはルード様が俺にくれた体だぜ?

テメエが命令すんな

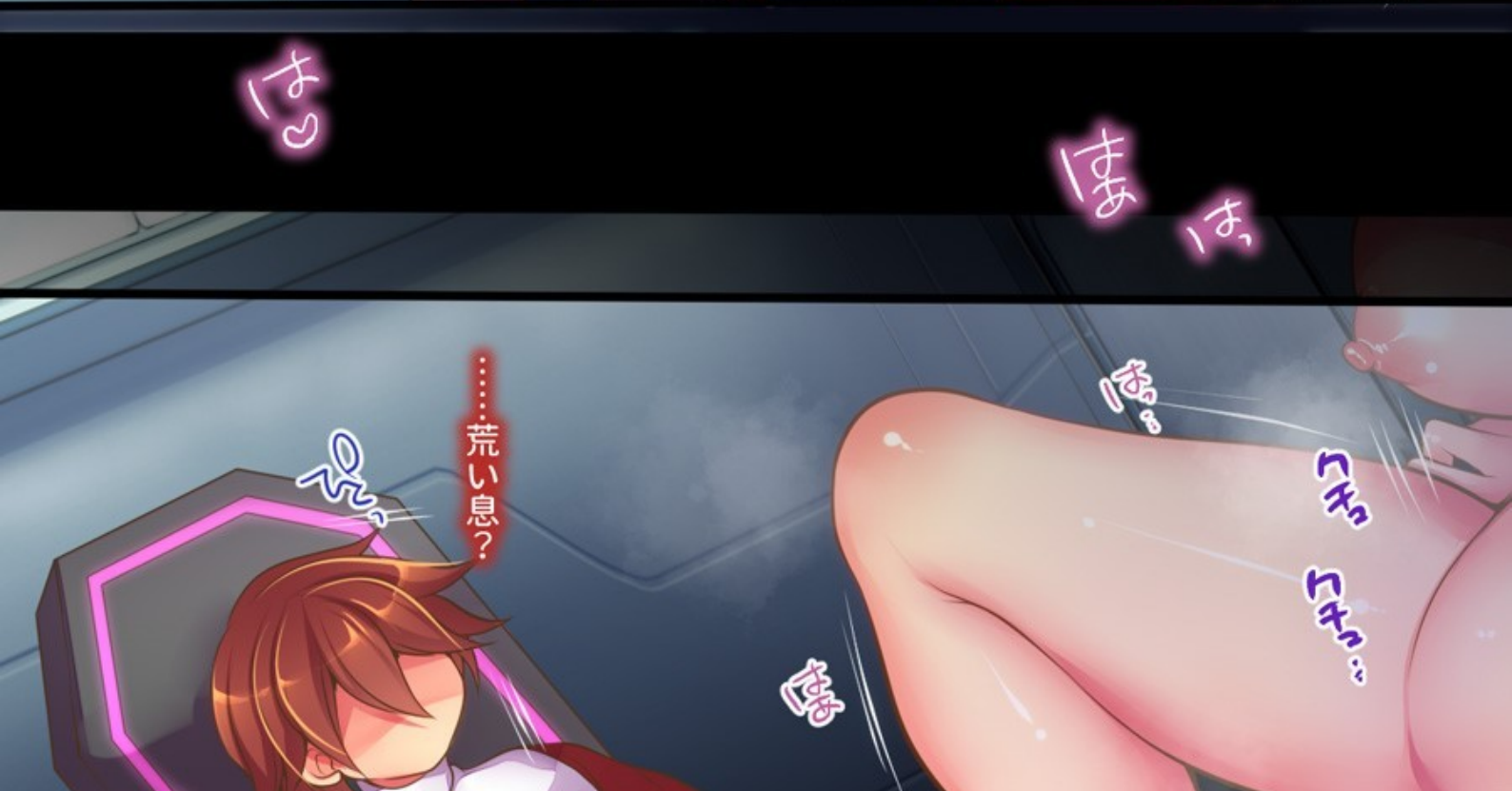
でしたら強引に!

まさか貴方はベニーさんなのですか!?

ああ、そうだよ

わたくしの体から出ていってください!

えっ、わたくしの体が勝手に!?







レッドもこんな爆乳を
目の前にしてよく
ピンクちゃんを
襲わなかったよな

ピンクちゃんの
記憶を見たが

手を握ったこと
しかないとか
奥手すぎるだろ

……記憶？

これはピンク
ちゃんの体だぜ？
記憶くらい読めるさ

勝手にピンクの
記憶を読むな！

そう怒るなって
気持ち良くなって
やるからよ



何をする!?

何って手コキだよ。
気持ち良いだろ？

なっ!?

ピンクちゃんに
手だけじゃなくて
こっちも握って
欲しかったんだろ？

わあ、レッドさん
のおちんちんさん
大きいですね♡

やめろ！

そんなことを
思うはずが
ないだろ！

じゃあ
こっちか





今俺に
何を打った!?

っう!?

ス
ooo



誰が仲間
になるか!

なるんだよ



クイーンの
『ダーク因子』さ



ぐああああああ!

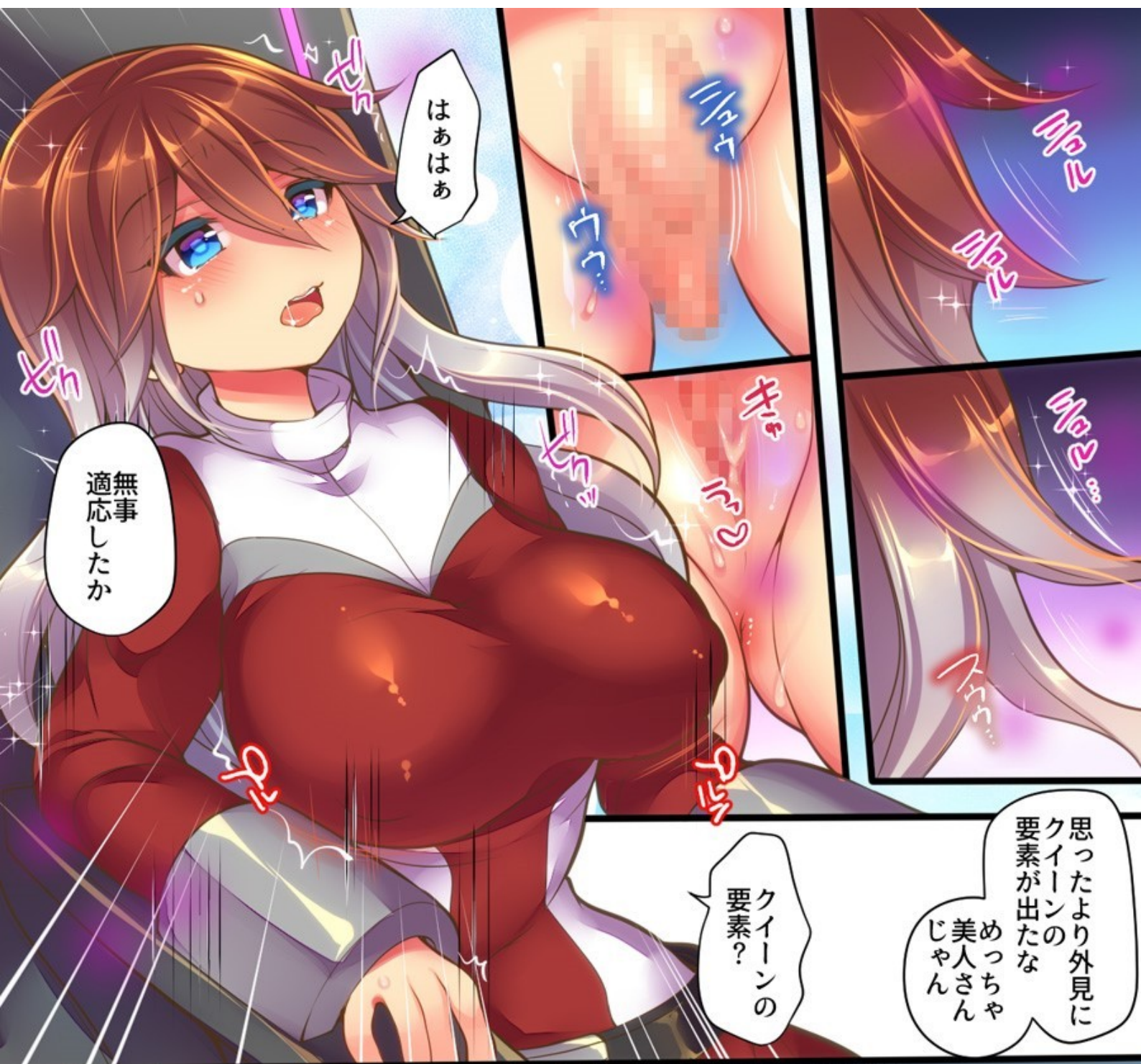
ルード様は
『ブレイブ因子』と
『ダーク因子』を併せ持つ
戦士を欲していた

レッド、貴様が
それになるんだよ

ズ
...

ズ
...

ズ
...







駄目だ！
それだけは
消すな！

壊さないで
くれ！



忘れるな俺！
俺の名は結城勇士！

聖装戦隊ブレイブ
ハーツのレッドとして、
皆と一緒に世界を守る
のが使命だろ!!

テメエの名は
ハーティア

違いや
違うね

ルードカードの
四天王として、
皆と一緒に世界を
侵略するのが使命だ



あああああ
あああああ
あああああ



ブルーの立ち位置に
俺が入っているのか

あとで色々とな
確認しないとな

ああ。
頼んだぜ親友

は

なんなんだ
この戦闘員は？
クイーン姉妹か？

突然現れたと思ったら
いきなり襲い
かかってきて……

それに
相当強い

やるな
ブルー

俺も本気を
出さないと
失礼か

聖魔
融装変身！

ハーティア！

その
ブレスレットは
レッドの？！



そんな……その
プレスレッドを
使えるのは
レッドだけ……

君はレッド
なのか!?

そう思うと面影が
……でも何故
女の子に?

何故俺と敵対
しているんだ?
洗脳か?

レッド?
何を言っている?

俺の名は
ハーティア!

『ブレイブ因子』と
『ダーク因子』を併せ持つ
最強の戦士だ!

しまっ



ブレイブ
ダーククロス!

うわあああ!



まだ馴染んで
いないからか?

だが感情が昂り
すぎるのが難点だな
体が疼いて
仕方がない



なんだあの強さは!?
これまでの敵の
比じゃないぞ!?

ははっ強い!
強いぞこの体は!

あのブルーが
一撃じゃないか!



ぐあっ!?



丁度良い肉玩具が
いるじゃん



あっ





ほら
見てみるよ

もう
いいよな

ブルーの
おちんちんを
啜えたくて

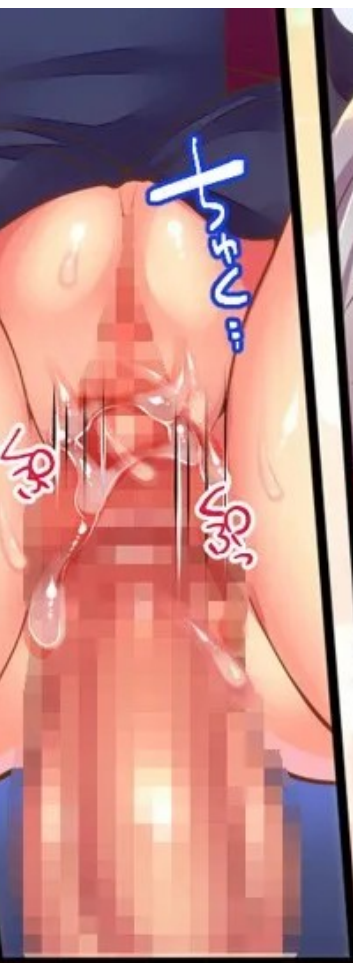
俺のまんこが
こんな濡れ
ちゃっているぞ

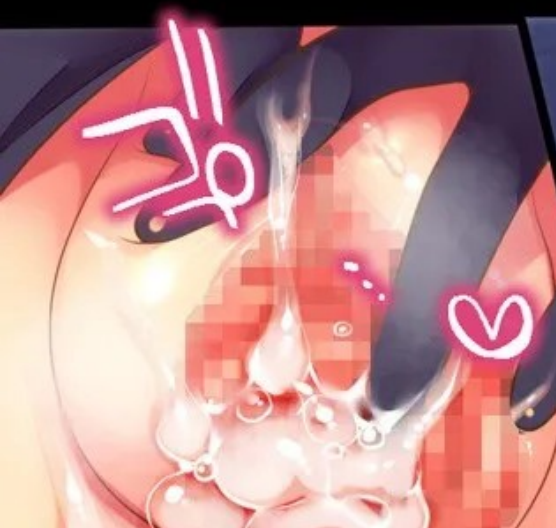
散々振り回されて
きたが、今回ののは
度が過ぎるだろ！



レッド……本当に
女の子に……

俺にもっと
力があれば……







気に入ったぜ
ブルー

仲間にした後も
俺の肉玩具として
使ってやる



勇士……



翌朝——

皆
おはよう！



あはっ、君は
そうなんても
真面目だね

そう
なんても？

ジョーカー姉様、
皆もう
揃っているぞ

四天王の補佐役
である私達姉弟が
皆の足を引っ張って
どうする？



ああ

カ
セ

なんでも
ないよ。
ほら行こう



ゴ
...



揃ったな
それでは
ルード様を
お呼びするぞ



ジョーカー、ベニー。
良い働きであった。
ご苦労

はっ



ルード様、
皆が揃いました

うむ

『ブレイブ因子』
を持つ者

『ブレイブ因子』と
『ダーク因子』を
併せ持つ者

それらを四天王に
得たことで、
余の戦力は
大幅に増した

これでまた
強者との戦いを
愉しめる

さあ立て

新たな侵略の
幕を開けよう

はっ！

全てはルード様の
御心のままに！





耳といぼ
←先端に白の点

フー

フー

フー

